

Skinkalede

KALEにこだわり続けてきたキューサイは、
日本を代表する KALE EXPERT COMPANYへと成長いたしました。

KALEに始まり、KALEと共に歩んできたキューサイだからこそできること。
それは、KALEのパワーをもっと広めていくことです。

健やかさを内側から育むお手伝いをするだけでなく、
外側からもKALEの恵みを存分に届けたい。

KALE EXPERTとして歩み、獲得してきた知識のすべてを注ぎ込み、
新たな化粧品が誕生しました。

新ブランド、それが『Skinkalede』です。

今までのスキンケアアイテムとは一線を画した
Skinkaledeシリーズに、ぜひご期待ください。



Skinkalede

BRAND THEORY

Skinkalede 本件に関するお問い合わせ先(商品お貸し出し・商品画像のご依頼など)
[キューサイ株式会社] 広報窓口 TEL:092-724-0179 FAX:092-724-3369 MAIL:koho@kyusai.co.jp HP:<https://corporate.kyusai.co.jp/>
PR担当:黒岩あゆ美 MAIL:akuroiwa@kyusai.co.jp / PRサポート:藤田敦子 TEL:090-9846-6091 MAIL:atsuco@youandme.tokyo
[お客さまからのお問い合わせ先] お客様相談室 TEL:0120-327-831 通話料無料(受付時間)月~金 9:00~18:00(土日祝除く)

Message From CEO 神戸聰

KALEとは

KALEのルーツ

地中海沿岸が起源とされる KALE。
この地域は、強い日差しと乾燥した大地で、
土壌は石灰岩が風化して積もった赤土でできています。
決して“肥沃”とは言えない場所だったからこそ、
強靭な遺伝子が生まれたのです。

KALEは気温 20 度ぐらいの冷涼な気候を好みますが、
耐熱性や耐寒性ともに強いため、
どんな過酷な環境でも逞しく生き抜くことができ、
世界中に広がっていったという歴史をもちます。

KALEとキューサイが過ごしてきた蜜月

スーパーフード・ケールという最高の素材と出会い、
キューサイはその KALE を育て続けてきました。
私たちと KALE の蜜月は、すでに 35 年を超えようとしています。

野生の原種に近い KALE は逞しく、丈夫で、
その栄養価の高さは紀元前から注目されていました。
大きな葉を花びらのように広げて育つ KALE の姿はとても力強く、
収穫の季節には大人の顔を覆い隠してしまうほどの大さに成長します。

キューサイは KALE のチカラを一人でも多くの方に知っていただくために、
青汁づくりを行っております。
そして、KALE のことなら何でも知っている自負があります。
キューサイだからできることと、KALE のチカラを、ぜひ感じてください。

BRAND CONCEPT

KALEの神秘を

美しさに変える——。

Skinkalede

ブランド名は KALE がもつ神秘のチカラを
肌に届けたいという想いから名付けています。

過酷な環境の変化に耐え抜き、地球上で長く自生し続けている KALE。
生命力に満ち溢れ、まだまだ私たちが知らない多くの可能性を秘めた
KALE のエネルギーをスキンケアに活かし、
肌本来のチカラを引き出すことに役立てたい——。
そんな想いを Skinkalede に込めました。

ブランド名の最後についている「de」は「～の」を意味する言葉です。
「de」の後に、あえて何にも言葉を添えずにいるのは、
その後ろに広がる“無限の可能性”を感じていただきたいからです。

紀元前という遙か昔から注目されているにも関わらず、
KALE には、解明されていない未知なる可能性が秘められています。

生命力に満ち溢れる KALE のチカラと、その未知なる神秘のチカラを
「de」という言葉で繋ぎ合わせ、肌 (skin) 本来のチカラに——。

とてもベーシックですが、肌にとって最も必要なのは
自分で生まれ変われるという、本来あるべき姿。
それを Skinkalede がサポートします。

キューサイが Skinkalede に託すのは、誰しもが欲しいと願う、
そんな“肌のチカラ”です。



私が魅了された、
KALEのパワー。

伝えたい——。
KALEの本来の姿と、
その素晴らしさを。

自活力がキーワード。
肌も身体も会社も
次世代を目指して。

プレスイベントでも一度お話ししたことがあります、ちょうど息子が一歳になったくらいから KALE を飲ませるようにしたんです。少し身体が弱いところがあったのですが、本当にすくすくと育ち、今では進んで KALE を飲んでいます。偏食気味の息子を心配しておりましたが、そこでも改めて KALE のパワーを感じることになりました。キューサイグループの自社農場にも、実際に何度も足を運んでいます。広大な農場を埋め尽くす KALE を初めて見たときにはその大きさと生命力に感動したものです。その場で手で折って食べる KALE はみずみずしくて、美味しい。栄養価も高く、とても力強い野菜なんですね。

キューサイという会社の強みは一体何だろうと考えたときに、真っ先に浮かんだのが、この“KALE”でした。自社の農場を持ち、種選びからスタートしてケール青汁という商品になるまでを一貫して行っている、いわば KALE の“プロフェッショナル”です。

私が圧倒された KALE という野菜のパワフルな姿、その豊富な栄養価のバリューを伝えたいと思ったときに、もうひとつ浮かんだのが、キューサイが長く取り組み、多くのお客様に愛用していただいている“化粧品”というカテゴリーなのです。KALE と化粧品——。私たちの会社が誇る 2 つの大きな財産をそのままにしておくわけにはいきません。そこから社員一丸となって、Skinkalede のプロジェクトを進めてまいりました。そしてようやくそれが形となりました。

ここからさらに、KALE と SKINCARE の関係性を深めていきたいと思っています。

今の時代、「バランスをとること」がとても難しくなっています。極端な話かもしれません、CO2 の排出量と地球の浄化力を例に挙げてみましょう。現代では地球が持つ自浄力を遥かに超える CO2 が排出されているため、地球が瀕死の状態にあるといわれています。これも「バランスがとれていないこと」の一例といえるのではないかでしょうか。あらゆるところでバランスを失っている——、いわば借金や負債を抱えている状態です。それは身体も肌も同じなのではないかと思うのです。



今回発表することができた Skinkalede は、社員が自発的に選び、取り組んだプロジェクトテーマでした。キューサイという会社は、社員それぞれが持つ“自活力”というものを大切にしています。そして、それは今この時代に目指すべき身体や肌の状態にも通じるものがあるのではないかと感じています。すべての面においてバランスを取りづらくなっている現代。身体も肌も“自活力”が低下しています。私たちキューサイが、その自活力をサポートします。そしてお客様やプレスの方々が Skinkalede をサポートしてくださることが、キューサイの“自活力のアップ”にも繋がっていくのではないかと思っています。皆さまにお目見えしたばかりのブランド『Skinkalede』の成長を、これからも見守っていただけましたら幸いです。